

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科「国語」 科目「国語総合」 年間授業計画

教科：国語 科目：国語総合 単位数：4単位
 対象学年組：1～6学年相当 1～8組
 教科担当者：
 使用教科書：新編国語総合（東京書籍）
 使用教材：新編国語総合学習書（NHK出版）、自作プリント、パソコン

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	論理の展開をおさえる	論の展開の仕方や効果的な組み立て方を理解させる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	2
	文学作品の表現技法を知る	詩歌の表現技法を理解して作品を批評させる。		2
	『羅生門』を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・『羅生門』場面設定と心情変化を理解させる。 ・『羅生門』と『今昔物語』を比較して批評させる。 		2
6月	古典に親しむ・仮名遣い	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いの読み方の原則を理解させる。 ・古文の説話集を理解し、古典のおもしろさに触れる。 	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	2
	漢文に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の特徴や白文、訓読文、書き下し文の違いを理解させる。 ・故事成語など、古典に由来した語句を理解して古典に親しむ。 		2
	文脈をおさえて意味をとらえる	「文脈」とは何か理解し、文の意味をとらえる方法を理解させる。		2
	考えを言語化する方法	根拠を明示して意見を述べる方法を理解させる。		2
7月	表現技法を工夫して創作する	情景や心情描写を言語化し、表現させる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	2
8月				
9月	自分の意見を伝える方法（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じてスピーチする方法を考えさせる。 ・スピーチを的確に聞き取る。 	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	2
10月	自分の意見を伝える方法（2）	目的に応じて、相手の立場を考えながら意見を述べさせる。		2
	古典作品と文化的背景とらえる	有名な古典作品の特徴や文化的背景がどのように影響しているか理解させる。		2
11月	図表を活用して論を構成する	グラフや表など図表が文章にどのように関連しているかとらえさせる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	2
	古文文法のきまり（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・用言（動詞、形容詞、形容動詞）の特徴や活用を理解させる。 ・文法事項を確認するため、資料を活用できるようにさせる。 		2
	古文文法のきまり（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞と助詞の特徴や活用を理解させる。 ・文法事項を確認するため、資料を活用できるようにさせる。 		2
12月	古文文法のきまり（3）	よく使われる助動詞の意味を理解させ、語彙を豊かにする。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	2
	実用的な文章を記述する方法	読み手が必要とする情報を応じて文章を書く方法を理解させる。		2
1月	文章の種類を踏まえて要旨を把握する	様々なメディアの特徴を理解し、文章構成をとらえて要旨を読み取らせる。		2
2月				
3月				

東京都立新宿山吹高等学校 通信制過程 令和3年度 国語（現代文B） 年間授業計画

教科：国語科 科目：現代文B 単位数：4単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕
 教科担当者：
 使用教科書：標準 現代文B（第一学習社）
 使用教材：（PC、学習書、プリント教材等）

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	論理的に考える方法 文学的考察の方法（1）（2）	○「論理」という概念を理解させる。 ○一文を要素分解して、本文中の他の情報と照らし合わせる読み方を けさせる。 ○主題や疑問点を創出するための読み方を身につけさせる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4
6月	文脈を読み取る方法（2） 因果関係を読み取る方法	○旧情報と新情報を整理して文脈を読み取る方法を身につけさせる。 ○小説中の人物の内面・外面における因果関係を読み取る方法を身に 意味を読み取る方法を身につけさせる。 ○詩における抽象的な表現がもつ効果を理解させたいうで、詩の読解をさ	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4
7月	抽象的な表現の効果（2） 名作「こころ」の読解	○詩における抽象的な表現がもつ効果を理解させたいうで、詩の読解 をさせる。 ○近代の文化と近代的自我について理解させる。 ○「こころ」の主題について考察させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	3
8月				
9月	論理的に記述する方法（1）	○設問文を分析して解答に必要な要素を明らかにする考え方を身に つけさせる。		1
10月	データを根拠に意見を述べる方法 類似関係を読み取る方法	○統計資料のデータを用いて自分の意見を述べさせる。 ○類似関係について理解させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4
11月	絵図を伴ったテキストの分析と言語化 文と文の関係	○絵図などの事物を構成する要素を分解しつつ、様々な語彙を用いて 言語化する方法を身につけさせる。 ○文と文の関係を言語化する方法を身につけさせる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	上位語のはたらき 短歌・俳句の技法	○抽象的な上位語と下位語の互換性と包摂関係を理解させる。 ○短歌・俳句の制約と技法を理解させる。 ○与えられた条件に基づいて短歌・俳句を作らせる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	2
1 月	論理的に記述する方法 (2) (3)	○設問文を分析して解答に必要な要素を明らかにする考え方を身につ けさせる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	2
2 月				
3 月				

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科「国語」 科目「古典A」 年間授業計画

教科：国語 科目：古典A 単位数：2単位

対象学年組：1～6学年相当 1～8組

教科担当者：

使用教科書：改訂版標準古典A（第一学習社）

使用教材：自作プリント、パソコン

	指導内容	科目「古典A」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	古典作品と文化的背景を知る	『古今著聞集』等の古典作品と当時の時代の関連を理解させる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
	『伊勢物語』を読む（1）	・歌物語の特徴を理解させる。 ・『伊勢物語』と文化的背景をとらえさせる。		1
6月	『伊勢物語』を読む（2）	・各章段における和歌の役割と位置づけについて考えさせる。 ・和歌の修辞技巧を理解させる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
	随筆と現代のつながり（1）	・『徒然草』の特徴を理解させる。 ・作品の主題と現代のつながりをとらえさせる。		1
7月	品詞の種類と働き	古文を読む上で必要となる文法事項を確認させる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
	和歌の鑑賞（1）	・和歌の修辞技巧を把握して鑑賞する方法を理解させる。 ・文化的背景を理解して作品への理解を深める。		1
8月				
9月				
10月	和歌の鑑賞（2）	・和歌の修辞技巧を把握して鑑賞する方法を理解させる。 ・文化的背景を理解して作品への理解を深める。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
	随筆と現代のつながり（2）	・『方丈記』の特徴を理解させる。 ・作品の主題と現代のつながりをとらえさせる。		1
11月	・『枕草子』を読む ・古文文法の基本（1）	・『枕草子』の特徴を理解させる。 ・作品理解に必要な文法事項を確認させる。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
	『源氏物語』を味わう（1） ・古文文法の基本（2）	・『源氏物語』のあらすじを理解させる。 ・作品理解に必要な文法事項を確認させる。		1
12月	『源氏物語』を味わう（2）	平安期の文化を理解し、作品世界を理解する。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
1月	古典作品と芸能	古典作品と芸能を理解して古典に親しむ。	スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。	1
2月				
3月				

東京都立新宿山吹高等学校 通信制過程 令和3年度 国語（古典B） 年間授業計画

教科：国語科 科目：古典B 単位数：4単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕
 教科担当者：
 使用教科書：標準 古典B（第一学習社）
 使用教材：（PC、学習書、プリント教材等）

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	物語中の和歌の効果 名作「竹取物語」の読解	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○物語中に挿入されている和歌の持つ効果について理解させる。 ○竹取物語のあらすじを理解させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4
6月	訓読・故事成語 平安期の文化理解	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○訓読法の基礎を理解させる。 ○故事成語の成り立ちと里みを理解させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4
7月	和歌の技法と鑑賞法 用言の活用（1）	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○和歌の制約と技法について理解させる。 ○用言の活用について体系的に理解させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	2
8月				
9月				
10月	名作「平家物語」の読解 漢詩の技法と鑑賞法	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○「平家物語」の内容と主題について理解させる。 ○「平家物語」と他作品を読み比べさせて、描かれ方について理解させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4
11月	助動詞の用法と解釈 漢文句形の基礎	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○基本的な助動詞の意味と、文中での解釈の仕方について理解する。 ○再読文字と置字と二重否定の句形について理解させる。	①レポートの取組み状況 評価ABCDE）〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	4

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	古文解釈の方法	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○準体法や格助詞の用法などを理解させる。	①レポートの取組み状況 評価(ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	2
1 月	用言の活用(2) 名作「源氏物語」の読解	○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○用言の活用について体系的に理解させる。 ○源氏物語の内容について理解させる。	①レポートの取組み状況 評価(ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。	2
2 月				
3 月				

都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 地歴科 科目 世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史科 科目：世界史B 単位数：4単位

対象学年組：全学年1組～8組

教科担当者：

使用教科書：「高校世界史B 改訂版」（山川出版社）

使用教材：「明解世界史図説 エスカリエ」・プリント等

	指導内容	科目「世界史B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	・古代オリエント	メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明に関心をもたせる。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みや定期試験の点数などを総合的に評価する。	1
	・古代ギリシア、古代ローマ	エーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探求するとともに、ローマ世界の特色についても学習する。		2
	・古代インド	バラモン教やヴァルナ制度、仏教の特徴についても理解を深める。		1
	・黄河文明～漢	黄河・長江の新石器文明から殷・周・漢帝国の社会や文化の特質を追究していく。		2
	・魏晋南北朝～唐	隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界の国家体制の整備やその動向を理解する。		2
6月	・イスラーム世界	ムハンマドの活動やイスラーム教の特質についての理解を深める。		1
	・ゲルマン民族の侵入	フランク王国とローマ教皇の提携の意義、ノルマン人などの諸民族侵入の影響について関心をもたせる。		1
	・中世後期のヨーロッパ	西ヨーロッパ封建社会の変容、中世都市と商業の発展について理解する。		1
7月	・宋～元	宋の統治体制とモンゴル帝国の内陸アジア支配について考察を深める。		2
	・明～清	明朝の経済的繁栄と清朝が形成した広大な支配領域での統治について理解する。		1
8月	・ルネサンス、宗教改革	ルネサンスがもたらした芸術・思想・科学の変革の内容を理解する。また、ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応についても考察する。		2
9月	・ルネサンス、宗教改革	ルネサンスがもたらした芸術・思想・科学の変革の内容を理解する。また、ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応についても考察する。		1
	・前期のまとめ	これまで学んできた世界の歴史の大きな枠組みを把握させるとともに文化の多様性についても理解する。		
10月	・アメリカ独立革命	アメリカ独立革命の経過と、独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。		1
	・フランス革命とウィーン体制	フランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。また、ウィーン体制の成立と崩壊過程にも着目していく。		2
	・19世紀半ばのヨーロッパ①	ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立について学習を深める。		1
	・19世紀半ばのヨーロッパ②	19世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。		1
11月	・清朝末期	アヘン・アロー両戦争、太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し、近代化の取り組みが始まったことを理解する。		2
	・19世紀末の世界	欧米で進展した第2次産業革命と各国の帝国主義の動きを関連付けて考察する。		1
	・20世紀初めの世界	経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化について理解する。		1
12月	・第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦の原因や性格について、これまでの戦争との違いを多角的に考察する。		2
	・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	社会主義国家の誕生と、ヨーロッパ世界の世界的な意義と影響を理解する。戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について考える。		1
	・世界恐慌とファシズム諸国の侵略	ファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連付けて考察する。		1
1月	・冷戦と第三世界の独立	米ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。		2
	・後期のまとめ	中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。1年間学んできた世界の歴史の大きな枠組みを把握させるとともに現代社会が抱える問題を考える。		1
2月				
3月				

都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 地歴科 科目 日本史B 年間授業計画

教科：地歴科 科目：日本史B 単位数：2単位

対象学年組：全学年1～8組

教科担当者：

使用教科書：日本史B

使用教材：プリント、ICTパソコン

	指導内容	科目 日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	○原始社会の生活	気候の変化と日本列島の形成を関連させ、打製石器の変革から生活を推移し、原始社会の文化を理解する。	①スクリーニングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点以上3点を総合的に評価	6
	○農耕社会の形成	朝鮮半島南部から稲作と金属器を伴う文化がもたらされ、その発展が社会生活の進展に大きな役割を果たし、やがて集落の対立や中国の国家と交渉を持ったことを理解する。		
	○古墳とヤマト政権	東アジアとの交流がヤマト王権の発展に大きく貢献したことを理解する。とくに朝貢関係や渡来人による仏教が文化を成熟させ、古墳が生まれたことを理解する。		
	○飛鳥朝廷と律令国家の形成	推古朝の政治において骨子となる遣隋使の派遣、冠位一七階、憲法一七条の制定は、大王を中心とする中央集権的な古代国家への第一歩を記すものであったことを理解する。		
	○律令制の変容と平城京の時代	日本の律令制度が唐の制度を範としながらも、日本の国情に合わせて独自性を持っていることや律令体制を中央と地方との関係という観点から考察させる。		
	○貴族社会と摂関政治	他氏排斥と天皇の外戚関係を基盤として成立する摂関政治を当時の貴族社会における文化とともに理解する。		
6月	○院政と平氏政権	院政が地方武士の中央政界進出を招き、中世社会への転換点になったことを理解する。その際、院政の仕組みや荘園の発達についても触れる。	6	
	○源平の争乱と鎌倉幕府の成立	治承・寿永の乱の経緯と鎌倉幕府の成立について学習する。武家政権の特質や幕府機構について理解することができる。		
	○武士の社会と北条氏	頼朝没後、御家人同士の権力闘争を生じた中、北条氏による執権政治が出現したことを理解する。		
	○蒙古襲来と幕府の衰退	得宗専制下での元寇が御家人たちの幕府に対する反発を強め、それが幕府の体制崩壊になったことを理解する。		
	○南北朝の動乱と室町幕府	建武の新政や南北朝の戦乱を経て成立した室町幕府について学習する。管領等室町幕府の組織について理解することができる。		
	○室町幕府の社会・経済情勢	朝貢貿易体制下の日明交渉は、幕府の現実主義的な姿勢を示すものであり、朝鮮や琉球・蝦夷地を含む東アジアの交易ネットワークの中における日本の位置を理解する。		
7月	○庶民の台頭と応仁の乱	農業経営の集約化と多角化が進むに伴って、農民は自治的新集団を形成し、さらに地域結合へと発展し、一揆の主体勢力になったことを理解させる。その際に諸産業の応仁の乱をきっかけに旧秩序の急激な崩壊に伴って地域の独立性が進み、さらに戦国大名による分国支配がその傾向を推し進めたことを理解する。	2	
	○下剋上の社会と戦国大名			
8月				
9月	○ヨーロッパ文化の接触と織豊政権	鉄砲の伝来と南蛮貿易が日本におよぼした影響について考察し、その後の全国統一事業の課程を理解する。	2	
	○前期試験対策	半年間のスクリーニングの内容について振り返り、興味関心をもった分野についてより深い知識を得るとともに全体の学習についてまとめることができる。		
10月	○幕藩体制の成立	江戸幕府の成立の課程および幕府の組織について、その内容と特徴を理解する。また、キリスト教を禁止した理由、及び具体例、鎖国政策がどのように行われてきたのか	5	
	○幕藩体制の安定	幕府が武断政治から文治政治へ転換した理由と、その内容を理解する。この時代、学問の新しい傾向や町人を中心とした文化についても理解する。		
	○幕藩体制の動揺と改革	三大改革の内容とその背景及び結果について理解する。		
	○開国と幕末の動乱	外国船の来航と、幕府の対策について把握し、日本の開国が社会にどのような影響を与えたのか、経済・産業、外交などの観点から理解する。大政奉還から王政復古への課程と戊辰戦争までの統幕へ至るまでの課程を理解する。		
	○明治維新と富国強兵	明治新政府の方針の特色について、教育、軍隊、土地制度などの視点から列強に対抗する近代国家への成り立ちを理解する。		

	指導内容	科目 日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	○立憲国家の成立	議会開設に向けた政府の動きをふまえて、士族の反乱や自由民権運動進展の経過を理解し、これからの反政府の運動が与えた影響を考察する。明治憲法制定までの課程と憲法の特徴、初期議会の特色を理解する。		5
	○日清・日露戦争	日清・日露戦争についてその経過について学ぶ。当時の東アジア情勢の中での日本の外交政策を理解することができる。		
	○近代産業の発展と労働運動	産業革命の進展と資本主義の発達を各分野ごとに理解し、労働者や農民の生活の表情から労働運動、社会運動の発生について考察する。		
	○第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦に日本が参戦した背景や参戦が外交に与えた影響について考察する。		
	○大正期の政治と国際情勢	普通選挙運動により、デモクラシーを要求する声が高まったこと、新たな国際秩序を理解する。		
12月	○恐慌と軍部の台頭	戦後恐慌と関東大震災による慢性的な不況が金融恐慌を引き起こし、国内でのファシズム化を推進した政府が生活、経済、教育、思想、文学の国民生活の全てを統制下に置こうとしたことを理解する。		4
	○日中戦争と国内体制の改編	第二次世界大戦、太平洋戦争が勃発する経緯とその後の日本の外交について理解できる。		
	○占領下の日本と経済復興	連合国による占領が実質的にはアメリカの単独支配に近いものであったことを理解させ、占領政策がアメリカの利害によって変化したことやアメリカが指示した経済安定政策が日本経済の再建に果たしたことを理解する。		
	○高度経済成長とその終焉	国民の生活水準が向上した高度経済成長が実現した要因を世界経済との関連の中で理解する。その一方で、公害問題や社会問題が発生したことから国民の価値観、文化に変化があったことを理解する。		
1月	○新しい国際秩序と日本の課題	冷戦終結による国際社会の変化の中での日本の役割や55年体制が崩壊した後の政治情勢を理解する。		2
	○後期試験対策	半年間のスクーリングの内容について振り返り、興味関心をもった分野についてより深い知識を得るとともに全体の学習についてまとめることができる。		
2月				
3月				

都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 公民科 科目 現代社会 年間授業計画

教科：公民科 科目：現代社会 単位数：2単位
 対象学年組：全学年1～8組
 教科担当者：
 使用教科書：現代社会
 使用教材：プリント、ICTパソコン

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	○現代社会の特質と課題	幸福、正義、公正の考え方が、現代社会の環境・生命・情報等の諸問題を考察するための基盤であり、時として他者や他の集団との対立が生じることを理解する。その際に現代社会の関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察できる。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みや定期試験の点数などを総合的に評価する。	5
	○古代の哲学	哲学の成り立ちや近代までの思想家を理解する中で、私たちの日常生活に様々な影響を与えていることを理解し、自己の行動様式との関係について考察できる。		
	○近代の哲学	近代哲学が私たちの日常生活に様々な影響を与えていることを理解し、自己の行動様式との関係について考察できる。		
	○青年期の特質と課題	青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会生活に触れながら、自己を確立する基礎を培う重要な時期であることを理解する。		
	○民主主義と日本国憲法	民主主義における個人と国家について考察し、日本国憲法の基本原理を歴史的経緯を踏まえて理解する。		
6月	○基本的人権の保障(1)	基本的人権の自由権を中心に日本国憲法の各条文に則して理解し、その具体的な内容を身近な生活と関連させながら、他者の権利や公共の利益との調和を図る必要があることについて考察する。		4
	○基本的人権の保障(2)	基本的人権の社会権、平等権を中心に日本国憲法の各条文に則して理解し、その具体的な内容を身近な生活と関連させながら、他者の権利や公共の利益との調和を図る必要があることについて考察する。		
	○平和主義と安全保障	日本国憲法の平和主義の内容を理解させ、その中で自衛隊が創設された歴史的経緯や日米安全保障条約締結の経緯を見ていく中でそれらの問題点を考える。		
	○日本の統治機構	日本の政治制度について、議会制民主主義の考え方とともに、国会・内閣・裁判所のそれぞれの基本的な働きについて理解し、その三権が相互に抑制・均衡の関係にあることを理解する。		
7月	○地方自治の理念と課題	民主主義において本来の地方自治の本旨を理解させ、地方自治の意義と住民の主体的な政治参加をしていく上で抱える問題を考察する。		2
	○国民の政治参加と選挙	日本の政治制度の基本的な仕組みについて理解するとともに国民の世論形成に影響を与えるマス・メディアの働きについて理解し、主体的な政治参加の基礎を身に付		
8月				
9月	○前期試験対策	これまでの学習を振り返って、倫理、社会、文化、政治、法にかかわる現代社会の諸問題を取り上げてさらに理解を深める。		1
10月	○資産運用	金融商品を活用した体験学習を用いて、資産運用にともなうリスクとリターン、長期・積立・分散などの金融商品の正確な知識を身に付け、将来を見通した生活設計を理解する。		4
	○資本主義経済のしくみ	現代の経済社会において、自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能やその限界を理解し、産業構造の変化や経済のグローバル化を通じて、資本主義自由競争の結果、市場の寡占化、独占化が進むことにより、資本主義経済のシステムのメリットが失われてしまうことを理解し、その対策や工夫を考察する。		
	○独占と寡占	日本の財政問題と財政危機の現状について、データ・資料の読み取りを通じて理解するとともに今後の在り方について多角的に考察する。		
	○財政の機能と課題			
11月	○社会保障と課題	少子高齢社会における社会保障の在り方具体的な課題を挙げながら、課題解決のための方策を説明できる。		4
	○消費者の権利	消費者の保護の重要性、消費者の自立支援の観点から消費者の権利、責任について考察する。その際、成人年齢の引き下げの観点から消費者市民社会に必要な行動		
	○労働者の権利	日本国憲法に規定された勤労の義務・労働基本権を理解するとともに戦後構築された制度が近年崩れた要因や非正規雇用の増加などに代表される雇用・労働問題について理解する。		
	○冷戦期と安全保障	冷戦期から冷戦後、現在に至るまでの国際社会の動向を踏まえて、世界の安全保障への取り組みについて理解する。		
12月	○国際経済の歩み	グローバル化の進展とともに国際的な相互依存関係の深まりにおいて世界各地に広が		4
	○地域紛争と難民	第二次世界大戦後に起きた地域紛争を具体的にあげ、民族問題が生じる原因・難民問題の原因を考え、その解決に向けて考察する。		
	○国際的な格差の是正	発展途上国の経済の課題を理解し、国際協力における日本の支援状況について理解し、日本がすべき国際協力の望ましいあり方について考え、表現する。		
1月	○国際的な格差の是正	発展途上国の経済の課題を理解し、国際協力における日本の支援状況について理解し、日本がすべき国際協力の望ましいあり方について考え、表現する。		1
	○後期試験対策	これまでの学習を振り返って、経済、国際社会にかかわる現代社会の諸問題を取り上げてさらに理解を深める。		
2月				
3月				

都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 公民科 科目 政治経済 年間授業計画

教科：公民科 科目：政治経済 単位数：2単位

対象学年組：全学年1～8組

教科担当者：

使用教科書：「政治・経済」

使用教材：プリント

	指導内容	科目 政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	○民主主義の成立	ホッブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容を絶対王政や市民革命、人権宣言などの関連を踏まえながら、現代民主政治の基本原則を理解する。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクリーンングへの取り組みや定期試験の点数などを総合的に評価する。	1
	○大日本帝国憲法と日本国憲法	大日本帝国憲法との違いを明確にしなが、日本国憲法の三大原則を理解するとともに憲法や法の基本的概念や理論を理解する。		1
6月	○基本的人権の保障	基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の経緯を理解し、事例を通して様々な権利の衝突を調整していることを理解する。		1
	○国会・内閣・裁判所	日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について理解し、それぞれの政治制度や政治機構がどのような経緯で設けられたのか、制度や機構の背景にある民主主義の考え方について考察する。		1
	○政党と選挙	我が国の選挙制度や政治状況の特徴を捉え、小選挙区比例代表並立制の下での選挙事情や有識者における政治無関心など、現状を踏まえながら主権者としての政治参加の在り方を考察する。		1
	○戦後の日本政治	我が国の戦後政治史を概観し、中選挙区制の下での自民党による長期政権の持続や選挙制度改革後の政権交代の動きなど、政党政治と政治制度の変遷を踏まえて理解する。		1
7月	○資本主義のしくみ	現代の日本経済を貫いている基本原則に至るまでの歴史的な流れや各国の経済思想を踏まえて経済活動の意義を理解する。		1
9月	○前期試験対策	これまで学んできた政治分野の理解を深める。		1
10月	○経済主体とその循環	現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府のそれぞれの機能と役割について理解するとともに需要供給曲線を活用して市場メカニズムを理解する。		1
	○財政と金融	様々な景気の状況に応じた財政の役割や金融の仕組みを理解するとともに、我が国が抱える財政・金融の諸問題を理解する。		1
	○戦後の日本経済	戦後の経済史を概観し、国際貿易体制や国際通貨制度といった経済のグローバル化や国際競争の激化がみられる中で、政府による政策と景気を理解する。		1
11月	○地球環境と公害	地球環境と資源・エネルギー問題について先進国と発展途上国との間に利害対立があることを踏まえ、政府や国際機関、企業、NGOなどが環境保全に果たす役割について考える。		1
	○社会保障と労働問題	少子高齢社会における社会保障の在り方や雇用と労働を巡る問題について、具体的な課題を挙げながら、課題解決のための方策を説明できる。		1
12月	○国際経済のしくみ	経済学説を取り上げながら、国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを理解する。		1
	○国際協力と発展途上国	人種・民主問題が地域紛争や国際紛争に発展した事例を基に、その背景や原因、国際社会への影響などについて理解する。		1
月1	○後期試験対策	これまで学んできた日本経済・国際経済の理解を深める。		1
2月				
3月				

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 数学 科目 数学 I 年間授業計画

教科：数学 科目：数学 I 単位数：4単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕、定時併修生、他校併修生
 教科担当者：
 使用教科書：（東京書籍 新数学 I
 使用教材：（学習書、プリント教材等

	指導内容	科目 数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	〔1章 数と式〕 1節 整式	整式（文字を使った式、整式、整式の加法・減法、整式の乗法、乗法公式、因数分解）	◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ◎発問に答えようとする態度が見られるか。 ◎演習に取り組む姿勢があるか。 ◎基本的な知識・計算力があるか。 ◎最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。	3
6月	〔1章 数と式〕 2節 実数 3節 方程式と不等式	実数（根号を含む式の計算、数の分類） 方程式と不等式（1次方程式、不等式、不等式の性質、不等式の解き方、不等式の利用、2次方程式とその解き方）		4
7月	〔2章 2次関数〕 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化	関数、2次関数とそのグラフ（平方完成） 2次関数の最大値・最小値		4
8月				
9月	前期のまとめ	前期のまとめ・試験対策		1
10月	〔2章 2次関数〕 2節 2次関数の値の変化 〔3章 三角比〕 1節 鋭角の三角比	2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式 鋭角の三角比（三角形、タンジェント、サインとコサイン、三角比の利用、三角比の相互関係）		4
11月	〔3章 三角比〕 2節 三角比の応用	三角比の応用（三角形の面積、正弦定理、余弦定理、三角比と座標、三角比の相互関係、鈍角の三角比と計量）		4

	指導内容	科目 数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	[4章 集合と論証] 1節 集合と論証 [データの分析] 1節 データの分析	集合と論証 (集合、命題と集合、命題と証明) データの分析 (データと度数分布表、代表値、四分位数と箱ひげ図、分散と標準偏差、相関関係、相関係数)		3
1 月	後期のまとめ	後期のまとめ・試験対策		1
2 月				
3 月				

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）、定時併修生、他校併修生〕
 教科担当者：
 使用教科書：（東京書籍 新数学Ⅱ）
 使用教材：（学習書、プリント教材等）

	指導内容	科目 数学Ⅱ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	〔1章 方程式・式と証明〕 1節 整式・分数式の計算 2節 2次方程式	整式・分数式の計算（3次の乗法公式と因数分解、パスカルの三角形、二項定理、分数式とその計算） 2次方程式（複素数、2次方程式の解の公式）	◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。	4
6月	〔1章 方程式・式と証明〕 2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明 〔2章 図形と方程式〕 1節 座標と直線の方程式 2節 円の方程式	2次方程式（判別式、解と係数の関係） 高次方程式（整式の除法、因数定理） 式と証明（等式の証明、不等式の証明） 座標と直線の方程式（直線上の点の座標、平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係） 円の方程式、円と直線	○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。	4
7月	〔2章 図形と方程式〕 2節 円の方程式 3節 不等式の表す領域 〔3章 三角関数〕 1節 三角関数	円の方程式、円と直線 不等式の表す領域、連立不等式の表す領域 三角関数（一般角、三角関数の定義） 三角関数（三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、三角関数の性質）		8
8月				
9月				
10月	〔3章 三角関数〕 1節 三角関数 2節 加法定理 〔4章 指数関数と対数関数〕 1節 指数関数	三角関数（三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、三角関数の性質、加法定理、加法定理の応用、弧度法） 指数関数（指数の拡張、累乗根、指数関数とそのグラフ）		6
11月	〔4章 指数関数と対数関数〕 1節 指数関数 2節 対数関数 〔5章 微分と積分〕 1節 微分係数と導関数	対数関数（対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数、底の変換公式） 微分係数と導関数（平均変化率、微分係数、導関数、接線、関数の増加・減少）		6

	指導内容	科目 数学Ⅱ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	〔5章 微分と積分〕 2節 導関数の応用 3節 積分	導関数の応用（関数の極大・極小、関数の最大値・最小値） 積分（不定積分、定積分、面積）		4
1 月				
2 月				
3 月				

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 数学 科目 数学A 年間授業計画

教科：数学 科目：数学A 単位数：2単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕、定時併修生、他校併修生
 教科担当者：
 使用教科書：（東京書籍 新数学A
 使用教材：（学習書、プリント教材等

	指導内容	科目 数学A の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	〔1章 場合の数と確率〕 1節 場合の数	場合の数（集合、集合の要素の個数、和の法則と積の法則、順列、順列の利用、重複順列、円順列）組合せ、組合せの利用	◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。	2
6月	〔1章 場合の数と確率〕 2節 確率	確率（確率の意味、確率の計算） いろいろな確率（独立な試行の確率、反復試行の確率、条件つき確率）		2
7月	2章 図形の性質 1節 三角形の性質 2節 円の性質	三角形の性質（三角形と角、三角形と比、三角形の重心・外心・内心、角の二等分線と線分の比） 円の性質（円周角の定理、円に内接する四角形、円と直線）		1
8月				
9月	前期のまとめ	前期のまとめ・試験対策		1
10月	〔2章 図形の性質〕 2節 円の性質 3節 作図 4節 空間図形	円の性質（円と直線、接線と弦のつくる角、方べきの定理、2つの円） 空間図形（直線や平面の位置関係、多面体）		2

	指導内容	科目 数学A の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	[3章 整数の性質] 1節 約数と倍数 2節 整数の性質の応用	整数の性質 (約数と倍数、最大公約数と最小公倍数、ユークリッドの互除法) 整数の性質の応用 (方程式の整数解)		2
1 2 月	[3章 整数の性質] 2節 整数の性質の応用	整数の性質の応用 (方程式の整数解、分数と小数、2進法)		1
1 月	後期のまとめ	後期のまとめ・試験対策		1
2 月				
3 月				

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 数学 科目 数学B 年間授業計画

教科：数学 科目：数学B 単位数：2単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕、定時併修生、他校併修生
 教科担当者：
 使用教科書：（東京書籍 数学B Standard
 使用教材：（プリント教材等

	指導内容	科目 数学Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	〔1章 数列〕 1節 数列 2節 いろいろな数列の和	数列（数列と一般項、等差数列、等比数列） いろいろな数列（和の記号 Σ 、いろいろな数列の和、階差数列）	◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。	1
6月	〔1章 数列〕 3節 漸化式と数学的帰納法	漸化式、数学的帰納法	◎発問に答えようとする態度が見られるか。 ◎演習に取り組む姿勢があるか。 ◎基本的な知識・計算力があるか。 ◎最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。	2
7月	前期のまとめ	前期のまとめ・試験直前対策		3
8月				
9月				
10月	〔2章 ベクトル〕 1節 平面上のベクトル	平面上のベクトル（有向線分とベクトル、ベクトルの計算、ベクトルの成分表示、成分表示されたベクトルの計算、ベクトルの内積、ベクトルのなす角）		2
11月	〔2章 ベクトル〕 2節 ベクトルの応用 3節 空間におけるベクトル	ベクトルの応用（位置ベクトル、ベクトルと図形） 空間におけるベクトル（空間のベクトル、空間の座標とベクトル、空間のベクトルの内積）		2

	指導内容	科目 数学Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	[2章 ベクトル] 3節 空間におけるベクトル 後期のまとめ	空間におけるベクトル (空間のベクトルと図形) 後期のまとめ・試験直前対策		2
1 月				
2 月				
3 月				

年間授業計画

新宿山吹高等学校 令和3年度 教科：理科 科目：科学と人間生活 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2単位
 対象学年組：第1学年 1組～8組
 教科担当者：
 使用教科書：啓林館 科学と人間生活
 使用教材：教科書、学習書、レポート、プリント等

	指導内容	科学と人間生活の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	(実験) ブタ眼球の解剖	○ヒトの視覚と光のかかわりについて、また日光がヒトの健康に役立っていることなどについて理解する。 ○ブタ眼球を解剖し、つくりを観察することでヒトの視覚と光のかかわりについて理解を深める。	1. スクーリングでの取り組み 2. レポートの内容・提出期の厳守 3. 定期試験の得点上記3項目で総合的に評価する	2
	光合成速度	○植物の光合成に必要なエネルギーとしての光のはたらき、葉緑体や光合成色素のはたらきについて理解する。		1
	(実験) 光合成色素の分離	○実際に植物から光合成色素を分離し、光合成の仕組みや波長との関係について考察する。		1
	(観察) ウミホタルの発光	○動物の生得的行動について、ウミホタルを用いて、実際に発光を観察し、発光が起こるしくみについて考察する。		1
6月	(実験) 微生物の観察/酵母菌の発酵	○ヒトの生活に関係が深い微生物を観察し、微生物の大きさを認識するとともに担っている役割について理解を深める。又、微生物についての興味関心を高める。		2
	食品の科学	○食品に含まれている成分について学び、体の中に取り込まれた成分がどのようなはたらきをしているか理解する。		1
	(実習) 豆腐づくり	○身近な食品である豆腐の作り方を通して、その成分であるタンパク質の性質を理解する。		1
	(実験) 金属樹の観察	○プラスチック、金属、セラミックスなどの材料について、さまざまな種類があり、用途により使い分けられていることを理解する。 ○イオン化傾向の違いによって反応する金属樹を観察し、日常生活で利用されている金属について理解を深める。		2
	衣料繊維と洗浄のしくみ	○身の回りの衣料が、それぞれの繊維の性質をうまく利用して作られていることを理解する。 ○衣料の洗浄に使用される洗剤の性質について理解を深め、日常生活に還元する。		1
7月	プラスチックとリサイクル	○プラスチックの性質を学習し、日常生活でのプラスチックの扱いに関して理解する。また、プラスチックのリサイクル、有効利用について考え日常生活に還元する。		1
9月	(実験) 炎色反応			2
	前期のまとめ	○前期の授業内容について振り返り、自身をもっとも興味関心を持った分野についてより深い知識を得るとともに、全体の学習を振り返ることができる。		1
	前期試験			2
10月	光の性質	○光が波の一種であり、私たちの生活で情報を伝えるものとして、またエネルギーとして身近であることを理解する。		1
	(実習) 簡易分光器の作成	○簡易分光器を製作し、いろいろな光源のスペクトルの特徴を調べ、光に関する現象に対する興味関心を高める。		2
	光の分散・回折と電磁波	○日常生活における光や電磁波の利用について理解する。 (光の回折・干渉・分散・偏光といった性質、電磁波の波長による分類など)		1
	絶対温度	○セ氏温度と絶対温度の違いを理解し、それぞれを互いに変換させる。 ○さまざまな物質の状態変化が起こる温度を把握し、物質の特徴をつかむことができる。		1
11月	(実験) 電気パン	○さまざまな物質の熱に関わる性質について学習する。 ○比熱の定義、熱量の保存の関係を理解し、比熱などを計算によって求めることができる。		2
	電力と電気代	○電力、電力量について電流・電圧・抵抗と併せて理解し、日常生活で使用している家電製品などの表示にはどのような意味があるのか考察することができる。		1
	太陽系の惑星・天体	○太陽系の惑星の大きさ・位置関係を比較し、それぞれの惑星の特徴などを太陽との位置関係と関連付けで考えることができる。		1
12月	(実習) エネルギー変換体験	○エネルギーの種類をいろいろあげて、それらの間の相互変換について理解する。 ○抽象的な概念であるエネルギーについて、実験から理解を深める。		2
	太陽エネルギー	○太陽と地球の関係性を理解し、太陽からのエネルギーが日常生活にどのように影響を与えているのかを理解する。		1
	天体と人間生活	○数々の惑星探査機の成果をもとにしたドキュメンタリー番組などを視聴し、いろいろな太陽系の天体について調べさせる。		1
1月	地震・プレート (実験) 自然災害ジオラマ模型	○プレートテクトニクスの考えで地震の発生を理解し、地震による様々な災害を学習することで、今後の防災に役立たせる。 ○液状化現象として、固いはずの地面から水が噴き出したりする現象を実際に自分の目で確かめ、その原因を理解させる。		2
	後期のまとめ	○後期、また1年間の授業内容について振り返り、自身をもっとも興味関心を持った分野についてより深い知識を得るとともに、全体の学習をまとめることができ		1
2月	後期試験			1
3月	個別指導			1

年間授業計画

新宿山吹高等学校 令和3年度 教科：理科 科目：生物基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書：東京書籍 改訂新編 生物基礎

使用教材：教科書、学習書、レポート、プリント等

	指導内容	生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
5月	生物の多様性と共通性／生物とは？ (観察) 顕微鏡の使い方・細胞観察	○すべての生物には共通する特徴がみられることを理解する。また、これらの生物がもつ共通性は、共通の祖先からすべて生きてきた結果だということを理解する。 ○細胞の共通性について、基本的な構造が同じであることを理解する。また、細胞の違いによって原核細胞と真核細胞が存在することを理解する。 ○顕微鏡の基本的な操作方法を理解し、活用できる。	1. スクーリングでの取り組み 2. レポートの内容・提出期の厳守 3. 定期試験の得点上記3項目で総合的に評価する	2	
	代謝・酵素・ATP (実験) 酵素反応	○生物の体内で起こる化学反応全体である代謝を理解する。また、代謝に伴うエネルギーの受け渡しを行う物質がATPであることを理解する。 ○酵素が代謝を促進する物質であることを理解する。			2
	光合成と呼吸 (演示) エネルギー変換	○生物がどのような方法でエネルギー変換を行っているかについて理解する。 ○生体内でのエネルギー変換の具体例として光合成と呼吸について理解する。			2
	遺伝子・DNA・ゲノム (実験) DNAの抽出	○遺伝を担う物質が、核酸の一種のDNAであることを理解する。また、そのDNAが細胞内のどこに存在するか、原核生物と真核生物に分けて理解する。 ○DNA、遺伝子、ゲノム、染色体それぞれの意味と違いについて理解する。			2
6月	細胞分裂 (観察) 体細胞分裂の観察	○細胞分裂において、母細胞のゲノムが娘細胞に複製されて分配されることを理解する。また、分裂期にどのように分配されるか理解する。 ○顕微鏡の基本的な操作方法を理解、活用し、体細胞分裂している細胞を観察できる。		2	
	細胞分裂とDNA (実習) DNAストラップの作成	○細胞がどのように分裂するのか、DNA量の変化とともに説明することができる。 ○DNAの複製に関して、塩基の相補性を利用して行われることを理解する。		2	
7月	DNAとタンパク質 (実験) アカムシのだ腺染色体観察	○タンパク質が生体の中でどのようなはたらきを担っているかということを理解するとともに、このタンパク質の設計図がDNAであることを理解する。 ○同一の個体内では、基本的にすべての体細胞は同一のゲノムをもつことを知り、その一方で、細胞の形態や機能が異なるのは発現する遺伝子が異なるためであることを理解する。		2	
	生命倫理について／前期のまとめ	○前期の授業内容を元に、公民科・家庭科などと連携し生命倫理について考えを深める。 ○ディスカッションを行うことで、多様な考えがあることを理解し、自身の学習や考え方に還元できる。		2	
9月	前期試験			1	
10月	血液が必要な理由 (観察) トリ心臓の観察、血ぺいの観察	○体内環境を保つうえで、血液がどのような役割を果たしているか、細胞におけるガス交換や血液凝固のしくみなどとあわせて理解する。		2	
	肝臓・腎臓 (観察) ブタ腎臓の観察	○体液の成分や量を調節している肝臓と腎臓について、構造、調節方法の特徴について理解する。		2	
	神経いろいろ (観察) 脳の観察	○体内・体外環境の変化を感知し、各器官をコントロールする中枢神経系と末梢神経系の役割を理解する。また、自律神経系の分布と自律神経系による器官の調節の特徴について理解する。		2	
11月	ホルモン (実験) ホルモンによる 牡蠣の心臓拍動変化の観察	○ホルモンや内分泌腺の特徴を知り、内分泌系による体内環境の調節において、ホルモンの分泌量をフィードバックにより適切に調節することで、標的器官を持続的にコントロールしていることを理解する。		2	
	生体防御1 (観察) 顕微鏡での血球観察	○生体防御には3つの防衛ラインがあるが、その中の自然免疫について特徴を理解する。		2	
	生体防御2	○生体防御には3つの防衛ラインがあるが、その中の適応(獲得)免疫について特徴を理解する。 ○免疫のしくみを利用した感染症の予防や治療、免疫反応の異常により引き起こされる病気について理解する。		2	

	指導内容	生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	植生とバイオーム／生態系って何？	○気温と降水量の違いによって地球上ではさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 ○生態系とは何かを学習し、生態系のなかで、生物と生物、そして生物と環境が食物連鎖などによりつながっていることを理解する。 ○生物多様性と人類の関係について知り、世界の課題を自分のこととしてとらえ、実際に行動に移すためにどうしたらよいかを考えることができる。		2
	後期のまとめ	○後期、また1年間の授業内容について振り返り、自身をもっとも興味関心を持った分野についてより深い知識を得るとともに、全体の学習をまとめることができる。		2
1 月	個別指導			
2 月	後期試験			1
3 月	個別指導			

新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：無学年

教科担当者：

使用教科書：（大修館「現代高等学校保健体育」）

使用教材：（学習書、レポート等）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月			スクーリングの取り組みや、レポートの提出時期・内容を総合的に判断して評価する	
5月	バドミントン、ストレッチ、卓球、水泳	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		3
6月	バドミントン、ストレッチ、卓球、水泳	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		4
7月	バドミントン、ストレッチ、卓球、水泳	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		3
8月				
9月	バドミントン、ストレッチ、卓球、水泳	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		1
10月	バスケット、ストレッチ、卓球、テニス	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		4
11月	バスケット、ストレッチ、卓球、テニス	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		4
12月	ニュースポーツ、ストレッチ、剣道、テニス	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		3
1月	ニュースポーツ、ストレッチ、剣道、テニス	安全面や集団での協力体制を意識させたうえで各種目に応じたスキルの獲得とルール理解		1
2月				
3月				

新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 保健体育 科目 保健 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位

対象学年組：無学年

教科担当者：

使用教科書：（大修館「現代高等学校保健体育」）

使用教材：（教科書、学習書）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	喫煙と健康①・②	喫煙は世界的な健康問題であるとして、日本をはじめ各国でさまざまな対策が進められている。喫煙は、なぜそれほどまでに大きな問題とされているかを勉強させる。	スクーリングの参加状況やレポートの取り組み状況、定期試験の点数などを総合的に判断して評価する	
	飲酒と健康①・②	飲酒は深刻な健康問題や社会問題をもたらすことがある。飲酒はこれらの問題にどのような影響をもたらすかを勉強させる。		
	薬物乱用①・②	飲酒は深刻な健康問題や社会問題をもたらすことがある。飲酒はこれらの問題にどのような影響をもたらすかを勉強させる。		
	感染症①・②	現在問題になっている感染症および新たな感染症問題の防止のために、自分でやれること、社会がすべきことについて考えさせる。		
6月	喫煙と健康①・②	喫煙は世界的な健康問題であるとして、日本をはじめ各国でさまざまな対策が進められている。喫煙は、なぜそれほどまでに大きな問題とされているかを勉強させる。		3
	飲酒と健康①・②	飲酒は深刻な健康問題や社会問題をもたらすことがある。飲酒はこれらの問題にどのような影響をもたらすかを勉強させる。		
7月	薬物乱用①・②	飲酒は深刻な健康問題や社会問題をもたらすことがある。飲酒はこれらの問題にどのような影響をもたらすかを勉強させる。		2
	感染症①・②	現在問題になっている感染症および新たな感染症問題の防止のために、自分でやれること、社会がすべきことについて考えさせる。		
8月				
9月	定期テスト			1
10月	性感染症①	エイズや性感染症の実態や予防について、自分でやれること、社会がすべきことについて考えさせる。		3
	交通災害①	交通事故に関係する要因としての当事者の心理、行動、車両の特性、周囲の環境などについて勉強させる。		
	環境汚染①	過去の公害から環境問題を考えさせる。また、新しく問題視されてきた環境問題についても理解させる		
11月	労働災害・職業病①	働くことと健康が相互に影響することを教える。働き方改革についても理解させる。		3
	性感染症②	エイズや性感染症の実態や予防について、自分でやれること、社会がすべきことについて考えさせる。		
	交通災害②	交通事故に関係する要因としての当事者の心理、行動、車両の特性、周囲の環境などについて勉強させる。		
12月	環境汚染②	過去の公害から環境問題を考えさせる。また、新しく問題視されてきた環境問題についても理解させる		2
	労働災害・職業病②	働くことと健康が相互に影響することを教える。働き方改革についても理解させる。		
1月	定期考査			1
2月				
3月				

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：（ 外国語 ） 科 目：（ コミュニケーション英語Ⅰ ） 単位数：（ 4単位 ）

対象学年組：（ 無第学年1組～8組 ）

教科担当者：（ 岡村克巳 ）

使用教科書：（ 東京書籍 All Aboards! English Communication Ⅰ ）

使用教材：（ 音声CD、レポート、学習書、プリント ）

	指導内容	コミュニケーション英語Ⅰの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数	
5月	5/15	レポート1回（読解、表現、文法） Warm-UP	アルファベット 教室英語	①スクリーングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点	4
	5/15	レポート2回（読解、表現、文法） Pre-Lesson	文の種類、3人称単数についての理解と定着		
6月	6/5	レポート1～2回復習 Review Lesson	前期前半学習事項の復習	以上3点を総合的に評価する	6
	6/12	レポート3回（読解、表現、文法） This is My House	Lesson1 過去形についての理解と定着		
	6/26	レポート4回（読解、表現、文法） My Favorite Hero	Lesson2 進行形、文の構造についての理解と定着		
7月	7/3	レポート5回（読解、表現、文法） Cool Culture from Japan	Lesson3 助動詞についての理解と定着	6	6
	7/10	レポート6回（読解、表現、文法） A Miracle Mirror	Lesson4 不定詞、There isの文についての理解と定着		
	7/18	レポート3～4回復習 Review Lesson	前期前半学習事項の復習		
9月	9/4	レポート5～6回復習 Review Lesson	前期後半学習事項の復習、前期試験対策	2	
10月	10/16	レポート7回（読解、表現、文法） Finding My Future	Lesson5 動名詞、接続詞についての理解と定着	6	6
	10/23	レポート8回（読解、表現、文法） A Funny Picture from the Edo Period	Lesson6 受動態についての理解と定着		
	10/23	レポート7～8回復習	後期前半学習事項の復習、後期試験対策		
11月	11/13	レポート9回（読解、表現、文法） Living on Ice	Lesson7 現在完了形についての理解と定着	4	4
	11/20	レポート10回（読解、表現、文法） Building Trust in Sace	Lesson8 itの用法についての理解と定着		
12月	12/4	レポート9～10回復習	後期前半学習事項の復習、後期試験対策	6	6
	12/11	レポート11回（読解、表現、文法） Pigs from across the Sea	Lesson9 関係代名詞についての理解と定着		
	12/25	レポート12回（読解、表現、文法） I Am Malala	Lesson10 比較表現についての理解と定着		
1月	1/8	レポート11～12回復習	後期後半学習事項の復習、後期試験対策	2	

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(外国語) 科目：(英語会話) 単位数：(2単位)

対象学年組：(無学年1組～8組)

教科担当者：(岡村克巳)

使用教科書：(東京書籍 Hello there! English Conversation)

使用教材：(音声CD、レポート、プリント)

		指導内容	英語会話の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
5月	5/22	1 Lesson 1 dialog practice1 (useful expression, pair practice)	1 Greeting 2 Orientation 3 Self-introduction 4 Cloze test	①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する	4
	5/29	2 Lesson 2 dialog practice1 (useful expression, pair practice)	1 Getting to know each other 2 Zodiac sign 3 Cloze test		
6月	6/5	3 Lesson 3 dialog practice2 (useful expression, pair practice)	1 Asking each other's favorites or hobbies 2 Cloze test		
	6/12	4 Lesson 4 dialog practice2 (useful expression, pair practice)	1 Enumerating 2 Cloze test		6
	6/19	5 Activities 1	1 Enumerating 2 Cloze test		
7月	7/3	6 Activities 2	1 Conversation at immigration 2 Game		4
	7/10	7 Listening practice	1 Conversation at shopping 2 Game		
10月	10/9	8 Reviewg practice	Listening training word / sentence / story		6
	10/16	9 Lesson 5 communication practice1 (useful expression, pair practice)	Listening training word / sentence / story		
	10/30	10 Lesson 6 communication practice 2 (useful expression, pair practice)	1 Talking about foods 2 Cloze test		
11月	11/6	11 Lesson 7 communication practice 3 (useful expression, pair practice)	1 Talking about health 2 Cloze test		8
	11/13	12 Lesson 8 communication practice 4 (useful expression, pair practice)	1 Talking about plan 2 Cloze test		
	11/20	13 Lesson 9 communication practice 5 (useful expression, pair practice)	1 Debating with the expression 2 Cloze test		
	11/27	14 Lesson 10 communication practice 6 (useful expression, pair practice)	1 Cause- effect expression 2 Cloze test		
12月	12/11	15 Activities 3	1 Conversation at a restaurant 2 Game		4
	12/25	16 Activities 4	1 Conversation at a town 2 Game		

都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科 家庭 科目 家庭総合 年間授業計画

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 4単位

対象学年組： 全学年 1～8組

教科担当者：

使用教科書：東京書籍「家庭総合 自立・共生・創造」

使用教材：教科書、学習書、プリント

	指導内容	科目 現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月			レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みや定期試験の点数などを総合的に評価する。	
5月	○社会の中の家族・家庭	家庭が家族個人の発達に果たす機能と社会に対して果たす機能の特徴を理解させる。		4
	○子どもの育つ力を知る親としてともに育つ	子どもの発達・発達には、個人差はあるが一定の順序と共通性があること、人とのかわりを通して育つことを理解させる。		4
	○これからの保育環境	遊びを通して心身の発達や健康の保持促進がされることを理解させる。保育の一義的な責任は親にあるが、それを支える社会の支援が必要であることを理解させる。		2
6月	高齢期を理解する	生涯を通しての高齢期をとらえ、高齢者の身体的特徴と心理的特徴の概要を理解させる。	2	
	介護保険・社会保障	高齢者福祉の基本的な考え方、地域福祉サービス、福祉施設、社会保障制度について学ぶ。	2	
	家庭の経済生活 消費行動と意思決定	家計の位置づけを可処分所得の分析など具体的な事例をとおして理解させる。消費者としての自覚を持たせる。	2	
	消費生活と環境問題	流通や販売方法の多様化、複雑化、地球環境、大量廃棄の問題や消費行動の変化などを考えさせる。	4	
	食生活について考える	高校生の食生活の自立にむけて毎日の食事に活用できることや、実践への意欲を高めるよ指導する。	2	
7月	食事と栄養・食品	青年期の食事の大切さを理解させる。 栄養素と食品の関係を理解させる。	2	
	被服の役割を考える 繊維の種類・手入れ	被服の社会的機能を生かした着想を工夫できるようにする。	4	
8月				
9月	まとめレポート 第1～第4	人の一生と家族・家庭 子ども高齢者とのかわりと福祉 消費生活、関する知識のまとめをし、理解させ、テストに備える。		2
10月	おもちゃづくり	乳幼児の生活について、遊び・おもちゃの重要性を理解し、実践としておもちゃを作りレポート課題として提出させる。		4
	高齢者の生活 新聞活用 おもちゃ作り	新聞を通して、高齢者に関する社会問題に関心を持たせる。		4
	調理実習① 介護実習（車椅子体験）	①ピーフストロガノフ、グリーンサラダ（洋食） 介護実習（車いす体験）車椅子を使用している人の気持ち、目の高さのちがいなど理解する。		2
	献立作成	食事摂取基準や食品群別摂取量の目安・食事バランスガイドを活用し、経済、能率、家族の嗜好を考慮して献立作成できるようにする。		2
11月	調理実習②	②八宝菜を使ったあんかけ焼きそば、杏仁豆腐		2
	被服の役割を考える 繊維の種類・手入れ 基礎縫い	被服材料を理解し、着用している衣服の組成表示、家庭用品品質表示、取り扱い絵表示等理解する。		2
	調理実習③ 被服・基礎縫い	③いりどり、雑煮 ボタン付け等の基礎縫いを、実践で役立つようにレポート課題としている。		2
	調理実習③ 被服・基礎縫い	被服を管理する。気持ちよく長く着用できるように手入れ（洗濯方法、アイロンがけ、保管方法について学習する。		2
12月	ホームプロジェクト	家庭や地域の生活課題を発見し、改善策を考え実践する。レポート13回の課題であるが実践し、写真を撮るなどの記録が必要で、その成果まで図る。		2
	住生活の設計と整備	ライフスタイルや価値観に応じて、適切な住居を主体的に選べるようにする。平面図を理解する。		2
	食文化	行事食や郷土食とその由来、地域の気候風土で養われた伝統的な加工食品に関心を持たせる。 料理の盛り付け配膳、伝統文化に関心を持たせる。		4
	快適な生活 ホームプロジェクト	環境問題に配慮した住生活、ソーラー、緑のカーテンなど関心を持たせる。家庭や地域の生活課題を発見し、改善策を考え実践する。		2
1月	まとめレポート 第5～第11	食生活、衣生活、消費生活、環境に関する知識のまとめをし、理解させ、テストに備える。		2
2月				
3月				

東京都立新宿山吹高等学校 平成3年度 教科 情報 科目 社会と情報 年間授業計画

教科 科: 情報 科 目: 社会と情報 単位数: 2単位

対象学年組: 通信制生徒 [1組~8組 (1年目~6年目の生徒)]

教科担当者:

使用教科書: (東京書籍 社会と情報)

使用教材: (PC、学習書、プリント教材等)

	指導内容	科目 社会と情報 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	オリエンテーション PCの基本操作、Excel、Wordの操作 資料作成 課題の作成および印刷	PC教室の使用ルール、PCの基本操作、授業の進め方、課題の提出の仕方などの説明 Excelによるスクリーング計画表の作成、表計算 (関数の利用) Wordによる文書作成、案内状の作成	◎レポートの取組み状況 (評価ABCDE) で判断する。 [知識・理解] 【スクリーング】 [関心・意欲・態度] ○モニターに着目し、説明を聞く態度が見られるか。 ○課題に自発的に取り組んでいるか。 ○調べ学習を通して、情報を収集・集約・整理しようとする態度が見られるか。 ○ワープロソフトや表計算ソフト等の基本的操作を理解し、その上で、課題に取り組むことができているか。	4
6月	Excel、Word、PowerPointの操作 調べ学習 資料作成 課題の作成および印刷	Wordによる名刺の作成 ExcelまたはWordによる地図の作成 PowerPointによるプレゼン資料の作成 テーマに関する調べ学習 (情報の収集・整理、旅行計画等)		8
7月	Excel、Word、PowerPointの操作 資料作成 課題の作成および印刷	Wordによる文書作成、案内状の作成 Excelによる表計算 (関数の利用、グラフの作成・挿入、マクロの活用)		6

	指導内容	科目 社会と情報 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	テキストエディタ（メモ帳）の操作 資料作成 課題の作成および印刷	htmlの基本とWebページの作成		2
10月	オリエンテーション Excel、Wordの操作資料作成 課題の作成および印刷	PC教室の使用ルール、PCの基本操作、授業の進め方、課題の提出の仕方など Excelによるスクーリング計画表の作成 Wordによるレポート作成 Excelによる表計算（関数の利用、グラフの作成・挿入、マクロの活用）		6
11月	Excel、PowerPointの操作 調べ学習 資料作成 課題の作成および印刷	Excelによる表計算（関数の利用、グラフの作成・挿入、マクロの活用） PowerPointによるプレゼン資料の作成 テーマに関する調べ学習（情報の収集・整理、旅行計画等）		6
12月	Wordの操作 資料作成 課題の作成および印刷	Wordによる差し込み文書の活用		6
1月	Excel、Word、テキストエディタ（メモ帳）の操作 調べ学習 資料作成 課題の作成および印刷	ExcelまたはWordによる地図の作成 Excelによる表計算（関数の利用、グラフの作成・挿入、マクロの活用） htmlの基本とWebページの作成		2
2月				
3月				